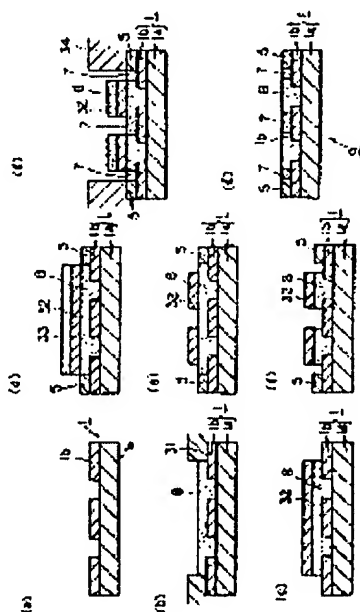


PRODUCTION OF ELECTROCHROMIC DISPLAY ELEMENT WITH LEAD TERMINAL

Patent number: JP62182725
Publication date: 1987-08-11
Inventor: YOKOYAMA KENICHI; KOSEKI KIMITAKA
Applicant: HITACHI MAXELL
Classification:
- **International:** G02F1/17
- **European:**
Application number: JP19860025063 19860206
Priority number(s): JP19860025063 19860206

Abstract not available for JP62182725



Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY

平成 4. 5. 15 発行

手続補正書

平成4年1月29日

特許庁長官 深 沢 亘 殿

特許法第17条の2の規定による補正の掲載

平 4. 5. 15 発行

昭和 62 年特許願第 182725 号 (特開平
1- 25667 号, 平成 1 年 1 月 27 日
発行 公開特許公報 1- 257 号掲載) につ
いては特許法第17条の2の規定による補正があっ
たので下記のとおり掲載する。 1 (3)

Int. Cl. 1	識別 記号	庁内整理番号
H04N 1/10 G06F 15/64	320	7037-5C B-8419-5B

1. 事件の表示

特願昭62-182725号

2. 発明の名称

画像読取装置

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

(307) 株式会社 東芝

4. 代理人

東京都千代田区麹町3丁目7番2号

鈴 栄 内 外 國 特 許 事 務 所 内

〒 100 電話 03 (3502) 3181 (大代表)

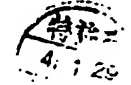
(5847) 井 理 士 鈴 江 武 彦

5. 自 発 補 正

6. 補正により増加する発明の数 2

7. 補正の対象

明 細 書



8. 補正の内容

(1) 特許請求の範囲を別紙に示す通り訂正する。

(2) 明細書の第4頁第6行目から第5頁第1行目にわたって、「この発明の画像読取装置は、～構成されている。」とあるを、「この発明の画像読取装置は、原稿上に形成された画像を読取るものにおいて、読取られるべき画像を有する原稿を保持し、かつ光透過性を有する原稿保持手段、前記原稿保持手段に対して前記原稿を圧接し、かつ所定の光透過性及び所定の光反射性を有する圧接手段、この圧接手段を介して前記原稿に光を反射する第1の光照射手段、前記原稿保持手段を介して前記原稿に光を照射する第2の光照射手段、および前記第1及び第2の光照射手段のうちの一つを選択する手段から構成されている。」と訂正する。

この発明の画像読取装置は、原稿上に形成された画像を読取るものにおいて、読取られるべき画像を有する原稿を保持し、かつ光透過性物質から構成される原稿保持テーブル手段、前記原稿保持手段に対して前記原稿を圧接し、かつ所定の光透

過性及び所定の光反射性を有する圧接手段、前記圧接手段を介して、前記原稿保持テーブル手段上に設置された原稿に光を照射する光源、および前記光源から照射され、前記圧接手段及び前記原稿を透過した光を受光し、対応する電気信号に変換し画像データとして出力する光電変換手段から構成されている。

この発明の画像読取装置は、原稿上に形成された画像を読取るものにおいて、読取られるべき画像を有する原稿を保持し、かつ光透過性を有する原稿保持手段、前記原稿保持手段に対して前記原稿を圧接し、かつ所定の光透過性及び所定の光反射性を有する圧接手段、この圧接手段を介して前記原稿に光を照射する第1の光照射手段、前記原稿保持手段を介して前記原稿に光を照射する第2の光照射手段、前記第1及び第2の光照射手段のうちの一つを選択する手段、およびこの選択手段により第1の光照射手段が選択された場合、前記第1の光照射手段から照射され、かつ前記圧接手段及び原稿を透過した光を、又は前記選択手段に

(109) -/-

BEST AVAILABLE COPY

より前記第2の光照射手段が選択された場合、前記第2の光照射手段から照射され前記原稿によって反射された光を、受光し、対応する電気信号に変換して画像データとして出力する光電変換手段から構成されている。」と訂正する。

(3) 明開書の第5頁第3行目から第14行目にわたって、「この発明は、～するようにしたものである。」とあるを、「この発明は、原稿上に形成された画像を読取るものにおいて、読取られるべき画像を有する原稿を光透過性を有する原稿保持手段で保持し、所定の光透過性及び所定の光反射性を有する圧接手段で上記原稿保持手段に対して前記原稿を圧接し、この圧接手段を介して第1の光照射手段で前記原稿に光を反射し、あるいは前記原稿保持手段を介して第2の光照射手段で前記原稿に光を照射し、前記第1及び第2の光照射手段のうちの一つを選択するようにしたものである。」

また、原稿上に形成された画像を読取るものにおいて、光透過性物質から構成される原稿保持テ

ーブル手段で読取られるべき画像を有する原稿を保持し、所定の光透過性及び所定の光反射性を有する圧接手段で前記原稿保持手段に対して前記原稿を圧接し、前記圧接手段を介して、前記原稿保持テーブル手段上に設置された原稿に光源からの光を照射し、前記圧接手段及び前記原稿を透過した光を受光し、対応する電気信号に変換し画像データとして出力するようにしたものである。

また、原稿上に形成された画像を読取るものにおいて、光透過性を有する原稿保持手段で読取られるべき画像を有する原稿を保持し、所定の光透過性及び所定の光反射性を有する圧接手段で前記原稿保持手段に対して前記原稿を圧接し、この圧接手段を介して第1の光照射手段で前記原稿に光を照射し、前記原稿保持手段を介して第2の光照射手段で前記原稿に光を照射し、前記第1及び第2の光照射手段のうちの一つを選択し、この選択手段により第1の光照射手段が選択された場合、前記第1の光照射手段から照射され、かつ前記圧接手段及び原稿を透過した光を、又は前記選択手

段により前記第2の光照射手段が選択された場合、前記第2の光照射手段から照射され前記原稿によって反射された光を、受光し、対応する電気信号に変換して画像データとして出力するようにしたものである。」と訂正する。

2. 特許請求の範囲

(1) 原稿上に形成された画像を読取る画像読取装置において、

読取られるべき画像を有する原稿を保持し、かつ光透過性を有する原稿保持手段と、

前記原稿保持手段に対して前記原稿を圧接し、かつ所定の光透過性及び所定の光反射性を有する圧接手段と、

この圧接手段を介して前記原稿に光を反射する第1の光照射手段と、

前記原稿保持手段を介して前記原稿に光を照射する第2の光照射手段と、

前記第1及び第2の光照射手段のうちの一つを選択する手段と、

を具備したことを特徴とする画像読取装置。

(2) 前記圧接手段は、50%乃至90%の光反射率を有すると同時に、50%乃至10%の光透過性を有することを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の画像読取装置。

(3) 前記第1の光照射手段は、前記圧接手段内

部に設けられていることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の画像読取装置。

(1) 前記第1の光照射手段は、光を発光する光源と、この光源及び前記原稿保持手段との間に設けられ、光強度を減少させるフィルタ手段とからなることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の画像読取装置。

(5) 前記第1の光照射手段及び前記フィルタ手段とは、前記圧接手段内部に設けられていることを特徴とする特許請求の範囲第4項に記載の画像読取装置。

(6) 原稿上に形成された画像を読取る画像読取装置において、

読取られるべき画像を有する原稿を保持し、かつ光透過性物質から構成される原稿保持テーブル手段と、

前記原稿保持手段に対して前記原稿を圧接し、かつ所定の光透過性及び所定の光反射性を有する圧接手段と、

前記圧接手段を介して、前記原稿保持テーブル

この圧接手段を介して前記原稿に光を照射する第1の光照射手段と、

前記原稿保持手段を介して前記原稿に光を照射する第2の光照射手段と、

前記第1及び第2の光照射手段のうちの一つを選択する手段と、

この選択手段により第1の光照射手段が選択された場合、前記第1の光照射手段から照射され、かつ前記圧接手段及び原稿を通過した光を、又は前記選択手段により前記第2の光照射手段が選択された場合、前記第2の光照射手段から照射され前記原稿によって反射された光を、受光し、対応する電気信号に変換して画像データとして出力する光電変換手段と、

を具備したことを特徴とする画像読取装置。

(10) 前記圧接手段は、前記光電変換手段が所定量の光を受光可能なように、所定の光透過性を有することを特徴とする特許請求の範囲第9項に記載の画像読取装置。

(11) 前記圧接手段は、50%乃至90%の光

手段上に設置された原稿に光を照射する光源と、

前記光源から照射され、前記圧接手段及び前記原稿を通過した光を受光し、対応する電気信号に変換し画像データとして出力する光電変換手段と、を具備したことを特徴とする画像読取装置。

(12) 前記圧接手段は、前記光電変換手段が所定量の光を受光可能なように、所定の光透過性を有することを特徴とする特許請求の範囲第6項に記載の画像読取装置。

(8) 前記圧接手段は、50%乃至90%の光反射率をすると同時に、50%乃至10%の光透過性を有することを特徴とする特許請求の範囲第6項に記載の画像読取装置。

(9) 原稿上に形成された画像を読取る画像読取装置において、

読取られるべき画像を有する原稿を保持し、かつ光透過性を有する原稿保持手段と、

前記原稿保持手段に対して前記原稿を圧接し、かつ所定の光透過性及び所定の光反射性を有する圧接手段と、

反射率をすると同時に、50%乃至10%の光透過性を有することを特徴とする特許請求の範囲第9項に記載の画像読取装置。

(12) 前記第1の光照射手段は、前記圧接手段内部に設けられていることを特徴とする特許請求の範囲第9項に記載の画像読取装置。

(13) 前記第1の光照射手段は、光を発光する光源と、この光源及び前記原稿保持手段との間に設けられ、光強度を減少させるフィルタ手段とからなることを特徴とする特許請求の範囲第9項に記載の画像読取装置。

(14) 前記第1の光照射手段及び前記フィルタ手段とは、前記圧接手段内部に設けられていることを特徴とする特許請求の範囲第13項に記載の画像読取装置。

出願人代理人 弁護士 鈴 江 武 彦